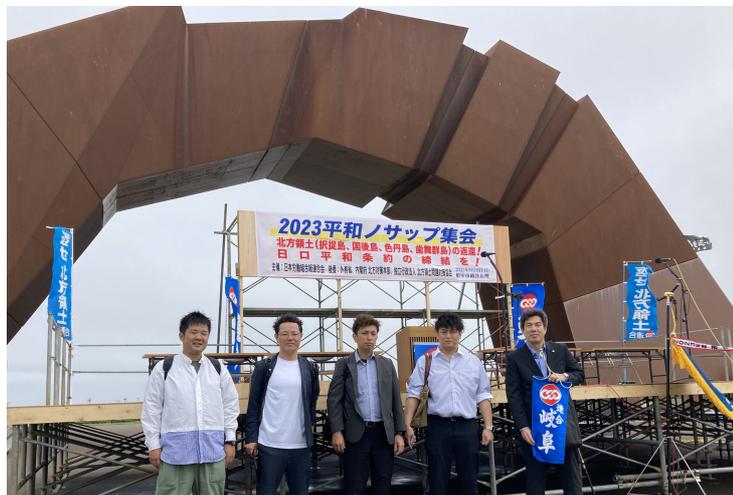


～北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！
日ロ平和条約の締結を！～

平和行動in根室 参加報告

2023年9月9日（土）～11日（日）
参加者5名



1. 北方四島学習会

北方領土問題に対する理解を深め、北方領土返還要求運動を進めるため、北方領土問題の経緯や現状、課題と展望について学び、元島民が故郷・北方四島に寄せる想いを聞く「北方四島学習会」へ参加した。

Aコース

■場 所■

北海道立北方四島交流センター（ニ・ホ・ロ）

2階「交流センター」

■内 容■

(1) 「歴史から見たロシアのウクライナ侵略と
北方領土問題」

講師 石川一洋氏（ジャーナリスト）

(2) 「北方四島の自然と領土問題」

講師 本間浩昭氏

（毎日新聞記者、特定非営利活動法人北の海の動物センター理事）



2. 連合2023平和ノサップ集会への参加

「2023平和ノサップ集会」が、望郷の岬公園で、「北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）の返還！ 日ロ平和条約の締結を！」をテーマに開催され、全国の構成組織・地方連合会から計863名が参加した。



元島民の訴え
鈴木咲子氏（択捉島出身）



集会は、芳野会長の挨拶、北海道、根室市、北方領土問題対策協会の来賓紹介とあいさつに加え、元島民の訴えとして鈴木咲子氏（択捉島出身）より「北方領土は元島民にとってはかけがえのない故郷であり、それ以上に、先人たちが心血を注いで開拓してきた日本の大切な土地であることを忘れてはならない。日本政府には、ロシアとの交渉を諦めず継続し、墓参が再開されることや日露交流ができるよう努めてほしい。

元島民の語り部として、小学生、中学生に講和をしているが、生徒は真剣に向き合ってくれており、心強く思っている。将来、返還運動を担うことを期待したい。厳しい情勢であるからこそ、皆さんとともに返還要求運動を強力に推し進めて参りたい。引き続きのご協力をお願いする」と語られた。連合北海道から連合沖縄へピースフラッグが手渡され、最後に集会アピールを採択して集会は終了した。

平和行動in根室に参加して

北方領土問題については、ロシアによるウクライナ侵略によって、平和条約交渉が中断、交流事業も停止された。また、ロシアは『好ましからざる団体』とし、人道的見地による北方墓参もできなくなった。日本政府には、日露関係の改善、そして、その先にある北方領土問題の1日も早い解決に向けて、粘り強い外交努力を求めたい。

映画「ジョバンニの島」では、島でロシア軍人の子どもと島民の子どもがお互いの国歌を一緒に歌い、校庭で遊ぶ様子が描かれていた。この時代のように共存共栄はできないものだろうかと考えさせられた。戦争経験者が高齢化していく中で、戦争

経験のない私達が、日本の歴史を伝え平和を訴えなければなりません。今回、見て聴いたことを一人でも多くの人に伝え、世界が平和になるよう活動を続けていきたいと思えます。

